

ライオンズクラブ チャリティバザー

10月23日の日曜日、おりなす八女においてライオンズクラブ主催のチャリティバザーが行われまして、地域の福祉事業所の模擬店販売等で賑わいました。ステージイベントの中では、陽だまりの里の利用者さんが日頃の音楽療法で磨いた歌声を披露されるなど、こちらもたくさんの感動に出会えました。



陽だまりの里利用者さんの演奏

12月25日(日)には「チャリティクリスマスパーティ」が「おりなす八女」にて予定されています。

お知らせ

この9月いっぱい、ゆうゆうの長嶺香さんが退職されました。こちらには4年近く配属されていて、ゆうゆうの活動とともにリーベルでの精神障害の方々の相談にも数多く対応していただきました。沖縄出身というだけあり、南風のような柔らかい人当たりで大変人気でした。この度の退職は、寿退職ということで、惜しまれながらも「お幸せに！」との言葉に送られて新しい住まいの場に移って行かれました。

その長嶺さんの代わりにということでこの10月からゆうゆうに新しいスタッフが配属されました。(女性が多かったので) 待望の男性スタッフです。ゆうゆうの活動のみならず、様々な相談にも優しく対応していただけます。



リーベルネットワーク 高次脳機能障害研修会

最近のリーベルへの相談として高次脳機能障害の方の相談が少しずつ増えてきています。多くは身体の障害も重複されてあるのですが、その支援としては、高次脳機能障害の症状の理解の難しさが事業所の課題として上がってきています。

そこで今、リーベルスタッフ、しょうがい福祉行政職員、医療機関のソーシャルワーカー、支援事業所の介護職員、就業・生活支援センター職員等で高次脳機能障害研修会を定期的に開いています。

まずは、基礎的な知識からその支援の方法などを、時には県の身体障害者リハビリテーションセンターの協力を得て学び始めました。今後は、事例検討などで深めていきたいとも考えています。また、次年度には、その研修の輪を拡げていきたいと考えていますので、お呼びかけした際には、多くの方に参加していただきたいと思います。

そしてこの八女の地を、私たちにとって住みやすい地域にしていきたいものです。



新しいスタッフ紹介

萩尾 浩之

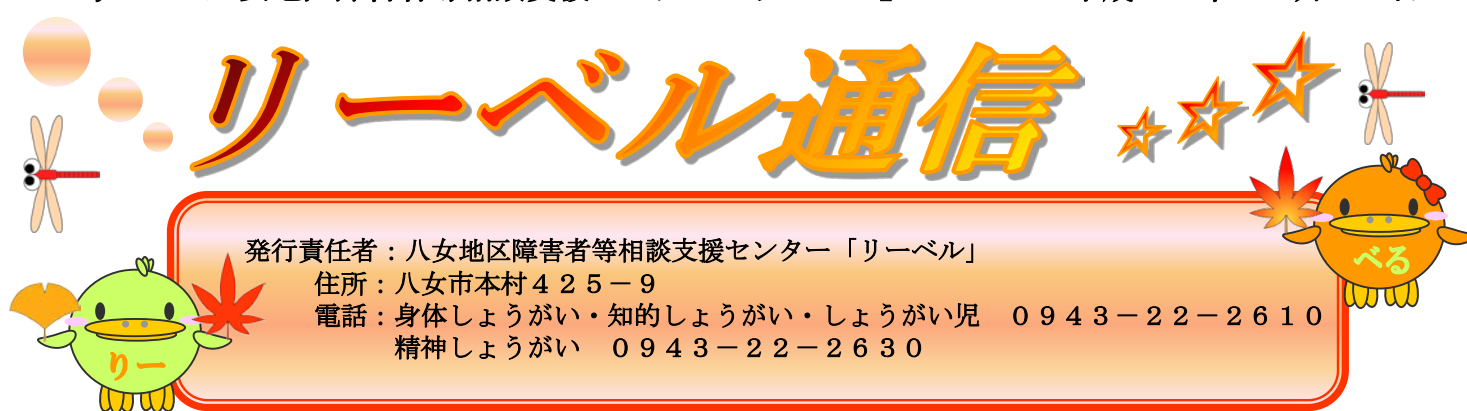


平成23年10月より、地域活動支援センターゆうゆうに配属となりました、萩尾浩之です。人と出会う機会が増え、いろんな方からよい刺激を与えてもらっています。皆さん、これからよろしくお願いします。

※地域活動支援センター「ゆうゆう」はリーベルの2階にあります。

編集後記

今年もあと少しで終わろうとしています、リーベルでも今年は幾つかのお別れがありました。一つは、上記のNさんとの別れ。ちょっと遠くに行かれて「元気ですか〜?」って感じですが、その前に同じく仲間のTさんとの別れ。この方は身近な所で頑張っている姿が見られるので、こちらも「負けずに頑張ろう。」って思いです。そしてもう一つあるのは、当然相談者との別れです。といっても、本当は多くは別れではなくて、一つの方に走り出して、ひとまずリーベルは「今は、いい(不要)です。」って感じでしょう。そういう存在でいいのかなあと感じます。「必要な時に必要なだけ」のリーベルで……。でも「いつでも気軽にどうぞ……」。



第16回リーベルネットワーク会議開催！ 10月15日

平成23年10月15日(土)に、第16回リーベルネットワーク会議を開催しました。今回は、リーベル活動報告や生活・就労・教育の各分科会からの報告、8月に開催した八女地区自立支援協議会の報告を主に行いましたが、前回のリーベル通信でも報告しました7月に視察研修に行った沖縄の報告を時間を割いてさせていただきました。地域性は違うものの、相談支援におけるネットワークの構築や新しい社会資源の開発などの報告のなかで「この八女の地でも活かせるものがあるのでは...。」と意見させていただきました。

年々増えてきている相談件数の中身もその相談支援を継続していく必要性のあるものが増えてきていること。そういった相談者の今後の生活(生きる力)を支えていくためには、今回集まっていたいただいた支援機関の方々の力が必要であること、このネットワークを大切にしていきたい思いも伝えさせていただきました。実際に、最近では当事者や家族からだけでなく、教育関係者や医療機関、民生委員さんなど多様な方々からリーベルに繋いでいただくケースが増えてきていることも報告しました。



他、現在このリーベルを中心としたネットワークの中で、高次脳機能障害の方への支援の難しさといった課題が直接支援の現場から上がってきていることで、この高次脳機能障害の研修会を定期的に行っていこうとなりまして、その経緯報告とこれからの予定を案内させていただきました。



また今回の会議には、筑紫地区(大野城市・春日市・太宰府市・筑紫野市・那珂川町)地域自立支援協議会の方々が視察に来られました。会議の後には、意見交換も行いました。幾らかの参考になればと思います。



生活支援分科会

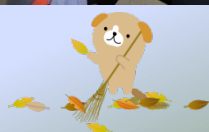
回を重ねるごとに顔の見える関係が出来てきました。第9回からは社会資源シートを活用して各事業所、行政の概要説明を始めました。今まで5件の報告を行いました。

特に発達障害者支援センター「あおぞら」には関心が高く色々な質問がありました。日頃から接点のない事業所にとっては「何をしてくれるのだろうか。」という思いが、少しは解消され大まかな概要を掴んで頂いたのではないのでしょうか。

八女市社協には多くの事業がある事に驚き、中でも日常生活自立支援事業への関心が高い状況でした。

事業所には、就労の経緯、ケアホームとグループホームの違い、高次脳機能障害の方の受け入れ、工賃等実践的な質問がありました。又、課題として「地域で児童の受け入れ施設が少ない」との報告もありました。今後の検討材料です。

説明をしていただく事業所にはご足労をおかけしますが、事業所のPRの練習にもなったのではないのでしょうか。事業所の色を感じています。



就労支援分科会

9月と10月には二つの部会（「一般就労」と「福祉的就労」）に分かれての分科会を開きました。一般就労部会では、地域企業への障害者雇用についてのアンケート調査実施にむけた内容検討と共有できる実習システムの構築にむけた意見交換を行い、福祉的就労部会では各事業所の評価システムや工賃アップにむけた取り組みなどを意見交換しました。出席された方にとっては業務においての参考にできたようです。

また、福祉的就労部会では、事前に話を受けた企業の農業に関する仕事（作業）の紹介をしまして、興味を持たれた事業所に繋いでいるところです。

11月の分科会は、それまでの3回行った各部会の報告会を中心にした全体会を黒木町にある城山学園で行っています。その時は会場となった城山学園の就労訓練（作業）を見学したり、その前には、昼食会を兼ねた懇親会を開きながら相互の情報交換する機会を作っています。

この分科会も、参加いただいている事業所によっては抱えている課題解決のニーズは様々なので、分科会を二つの部会に分けた効果を感じています。

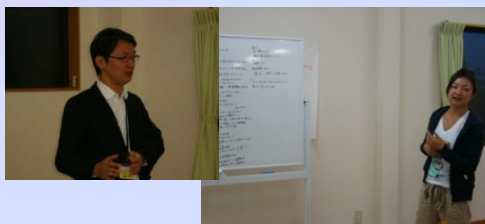


教育分科会

10月の教育分科会は、障害福祉サービス事業所「ふるさと」で行いました。今回も事例の検討を実施。学校と地域、福祉サービスが連携し、障害のある児童が、安心して生活できる支援体制と保護者との関わり方について協議しました。分科会委員の方にも地域にある社会資源を実際に見て頂く機会となり、会議終了後は、施設内を見学された先生もおられました。子どもの可能性を引き出す学校教育と、放課後や長期休暇の預かり、また学校卒業後を引き継ぐ福祉施設が連携し、子どもの成長と一緒に喜び合える関係作りができればと思います。



発達障害者支援センター「あおぞら」
（松尾氏）からもご助言いただきました。



「同じような事例があるんです！」と
グループワーク中に話された委員さんも
おられました。



リーベルでの実習を終えて

公立八女総合病院 研修医 坂本六大

9月に見学をさせていただきました公立八女総合病院の坂本です。地域医療を学ぶために南筑後保健福祉環境事務所で1ヶ月研修し、その中でリーベルを見学させていただきました。とても熱心に説明をしていただき、福祉について真剣に考えるよいきっかけとなりました。「リーベル」には身体障害・精神障害・知的障害・障害児の方をそれぞれ担当されている各事業所の代表の方が常にいらっしゃるので、施設間の連携がとても取りやすいようになっていると思いました。2階の精神障害の方たちの地域活動支援センターは利用者の方が多く、私自身もとても居心地のよい場所だと感じました。在宅介護をされている利用者の自宅訪問に同行させていただきましたが、不安な事や問題の対策方法などの話をやはり熱心にされていることがわかりました。またご家族に激励の言葉をいただきまして、私も真剣に患者さんや病気のことを考え、頑張っていこうと改めて思いました。この度は貴重な経験をさせていただきました本当にありがとうございました。



八女市内の地域の小学校に在籍されている6年生3名の子供さんに、先日参加された修学旅行の思い出を寄せていただきました。お友達と一緒に最高の思い出を作ってこられたようです。



みんなで行った修学旅行
長峰小学校6年1組 福田 智博

僕は5月20日、21日に長崎に修学旅行に行きました。長崎では原爆を体験された方の話を聞いたり、友達や先生達と長崎の町を見て回ったりしました。特にハートの石を見つけたことが心に残っています。修学旅行では原爆の恐ろしさや平和の大切さについて学ぶことができました。二度と戦争をしないようにしようと強く思いました。

お母様からも感想を書けていただきました。

小学校生活最大のイベント修学旅行に皆と共に参加でき本当に嬉しく思います。体調を考慮して時期を秋から春に変えてもらった事、細かい所まで配慮して計画してもらった事、学校から先生6名添乗員さん他6名の引率のもと、安心して2日間過ごせた事、旅先での様子を写メで送ってもらった事等、先生方お友達のお陰で楽しい思い出ができ本当に感謝しています。

福田 明美

修学旅行の思い出
長峰小学校6年2組 倉員 果凜

長崎に修学旅行に行きました。めがね橋でチリンチリンアイスを食べました。ホテルについてみんなでお風呂に入りました。ご飯を食べました。ポテトとからあげを食べました。おいしかったです。グラバー園で写真をとりました。おみやげにクリスマスを買いました。楽しい旅行でした。

楽しかった修学旅行
上妻小学校6年 川島 菜都美

修学旅行で平和学習に長崎へ行きました。山里小学校の防空壕の中はせまくて暗かったです。こんな中に人が入れるとは思いませんでした。中は広くて明るいかと思っていました。浦上天主堂のステンドグラスがきれいでした。原爆くでは屋根がふきとばされたと聞いてびっくりしました。夜は、友だちとホテルでおやつパーティーをして楽しかったです。

